

としま

まち

## つながる地域づくり(つなまち)通信

## 令和3年度第1回地域のささえあいの仕組みづくり協議会 開催

7/9(金)今年度、第1回地域のささえあいの仕組みづくり協議会を開催しました。協議会の委員は、民生委員・児童委員や高齢者クラブ、商店会、金融機関、区民ひろば、銭湯組合、福祉専門学校、介護事業者などからなる11名です。

前回の協議会で話題となった地域の共有交通サービス「mobi(モビ)」について、IKEBUSを運営するWILLER株式会社の担当者をお招きして、サービス内容や豊島区での試験実施を検討していることなどについてお話を伺いました。



## 「mobi(モビ)」とは??

月額(30日)定額料金でエリア内乗り放題。アプリや電話で呼ぶと、平均10分で迎えに来る、相乗りサービスです。(個人会員だけでなく、店舗会員などもあります)

現在、渋谷区や京丹後市で運行しています。

豊島区でも10月1日より運行開始予定で、現在認可申請中です。

詳しくは URL: <https://travel.willer.co.jp/maas/mobi/>



モビ



## 協議会のグループワークで出た主な御意見

## テーマ: 「mobi」の活用による高齢者の移動支援の可能性について

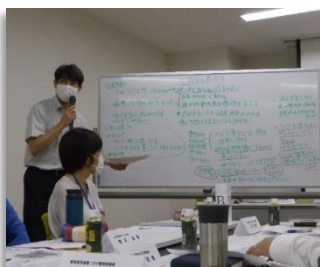
## 【mobiの利用について】

- ・アプリ操作が分からない高齢者には、電話番号と10分で来ることだけが一番伝わる。
- ・高齢者がアプリをどこまで使えるか。電話予約もいいが、他の生活支援の手段としても、mobiの利用を機にスマートフォンの利用を促せないか。
- ・サロンや区民ひろばで講座を実施するなど、使い方を知る場が必要。
- ・提案として、アプリの利用時間、利用頻度などの情報を利用して、フレイルの早期発見や、同居していない家族への見守りサービスにつながらないか。



## 【高齢者の移動について】

- ・mobiは短距離の移動だが、シルバーパスとの組み合わせや、他の交通機関への結びとして使用できるため、高齢者の移動範囲が広がる。
- ・高齢者が日常的に通う先として、区民ひろばや高田介護予防センターなどへの交通手段として利用できると、外出促進にもなる。(施設に店舗会員になってもらう)
- ・区民ひろば以外にも、買い物や病院に移動したいニーズは多い。
- ・歩行に不安がある人が外出機会を得ることができるよう、健康寿命延伸にもつながる。



## <高齢者の移動支援について地域での取り組めること>

- ◆スマートフォンやアプリ操作などを使うことのメリットの周知・勉強会などの開催
  - ・スマートフォンなどの利用が、外出促進や生活支援などにつながることを広報する。
  - ・小地域でスマートフォン、アプリ操作勉強会など、便利な使い方を知る場をつくる。
- ◆地域へ高齢者の生活課題の周知と「mobi」の情報提供
  - ・高齢者の生活課題とともに、「mobi」などの移動支援のツールについて、地域のお店などに情報提供を行う。
  - ・「mobi」の店舗会員が増えることで、高齢者の外出促進につながることを伝える。

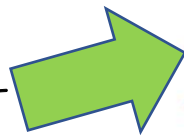


## ベンチプロジェクトロゴステッカー完成！！

地域のささえあいの仕組みづくり協議会で検討・取り組みを行っていたベンチプロジェクト。高田地域をモデル地区として取り組み、地域に複数台設置しました。

今年の6月には東池袋フレイル対策センター「いーとこ」の前にも椅子を設置し、区内に少しずつ「みんなのベンチ」が増えています。お出掛けの際、探してみてください！

このマークが目印です



発行 豊島区 高齢者の生活支援推進員(第1層生活支援コーディネーター)

【問い合わせ先】

豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階

電話 03-3981-4392 メール csw\_seikatsu@a.toshima.ne.jp